

を共有することが大事です。このことによつて、いろいろな可能性が広がってきます。東京駅、行幸通り、皇居外苑、二重橋をつないで、世間に誇る美しい日本の風景を発信することができそうです。ガーデンシティといわれた江戸期にくり上げた良質のストックをいかに掘り起こし取り戻していくかが課題です。

辰巳 私の考えは、まず天皇に京都に帰っていただく(笑)。明治維新に江戸への遷都令がでないままなんです。そうなるとう京都市は世界的な儀典都市として誇りと活力を甦らせることができます。東京は都市の中核ゾーンの生命の泉ともいべき深々とした緑をもつと活用できるようにやります。それぐらいドラステックなことをやらないと日本の都市は甦れない、こんなことをいうとテレビではカットされるし(笑)、雑誌では活字になりませんが、ソウルが首長の決断と行動力なら、日本はサイレントマジョリティである市民の声を積み上げて力にしたいですね。

丸茂 行政もいまは財政力が弱いですが市民の手や力を借りたい、市民の側も手は貸すから参加もしたいということになってきています。そんな市民参加を石川さんはいろいろと試みられていますよな。

石川 いま、自然の回復を求める市民の意志をひしひしと感じます。各務原という岐阜県のまちですが、住むところの環境をなんとかよくしたいという相談を受け、いろいろな試みをしています。最小のコストで最大の効果をあげるために、たくさんある児童公園に着目し、「パーク・コミュニティ」をつくることにしました。土埃の舞う裸地に遊具がポツンと置かれているといったどこにもある公園だったのですが、周辺の人たちに管理をして



自然をテーマにしたコミュニティづくり ルネ稲毛



家族が参加して自然と親しむ

もらうことを条件にまず全面に芝生を張りました。ただそれだけでまわりのお母さん方がいいわねとなり、一つ二つと連鎖反応で、あつという間に10箇所に分れました。それぞれに地域の歴史性を反映させ個性を持たせるよう工夫をしました。公園が変わると周りのお宅も花を植えて始めたりして人々の意識が急速に変わっていつています。

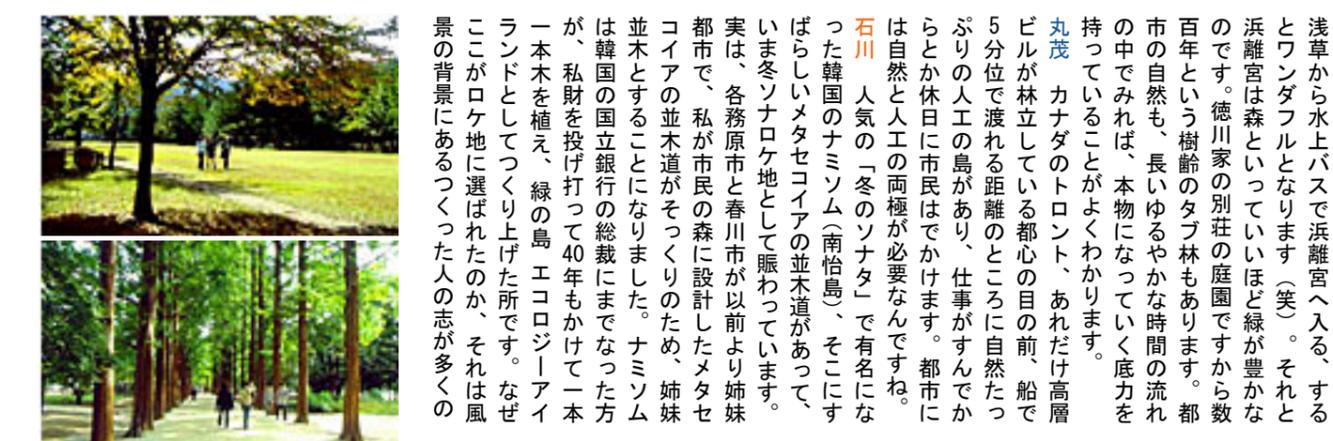
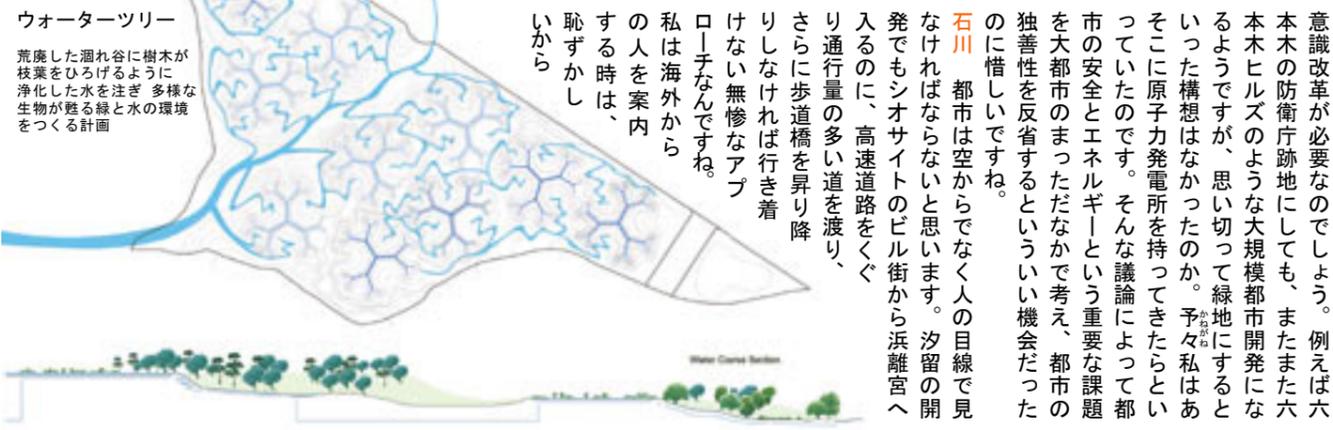
辰巳 大きな視野でのグラウンドデザインも大事ですが、暮らしの現場から一つ一つ積み上げることも同時に大事ですね。環境問題にしろ、温暖化の問題にしろ、人も緑も生き物も小から大へとみんな有機的につながっているものだから。

**地域への文化の厚味が
風景をかたちづくる**

丸茂 石川さんは鎌倉の広町という都市内の広大な緑地を丹念に調査なさって、その成果をもとにしてEUの環境基金による国際コンペでトップに選ばれましたね。

石川 ええ、マドリッドの近郊の公園計画なのですが、ウォーターツリーという考えを提案しました。かつて流れていた川の再生“生物多様性の復元”公園のアクティビティ“という3つの柱で構成しました。水と緑でキメ細かに成り立っている鎌倉の谷戸の自然が考えのベースになっていて、そのアイディアを基に設計し、おかげさまで評価されました。

辰巳 土地の歴史と自然の再評価ですね。どうも都市は経済効率で考え過ぎていきます。どうしようもないのでしようが、やはり都市に生きる人たちの心構えというが、



(上)40年かけて創出 エコアイランド (下)日本人も引きつける力をもつメタセコイアの並木道 いずれも韓国春川市 ナミソム(南怡島)



広幅員の緑道を設けた 震災復興事業 HAT神戸 灘の浜地区 神戸市



大震災を教訓に邸跡に緑の公園を整備 兵庫県 芦屋市

丸茂 都市機構のニュータウンでも庭づくりのレベルが高くなっています。6、7年前はイングリッシュガーデンのブームできれいな洋花を取り入れたイングリッシュガーデンをつくらうとしたのですが、日本の気候ではできないことがたくさんとわかってきて、最近ではやっぱり在来日本の花木や山野草が素敵と思えるようになりました。そうなるとう単なるガーデニングではなくて、庭から公園、里山へと多様な生き物が移動できる自然のネットワークが出来上がっています。

石川 いま都心居住が大きな流れですが、私は3人の子供を育てましたが、緑や花とともに子供が安心できる居場所をどうつくるか、それぞれの自治体でしっかりと考えなければならぬ、一つのコミュニティではまかなえませんが、ネットワークで共有する環境をつくっていく必要がありますね。

丸茂 私の雑誌で「マンションがつくる街」を特集したのですが、入居予定者でコミュニティガーデンづくりのワークショップをはじめた街があります。ガーデニングのコーポラティブ方式ですね。そうすると勉強会が入居後クラブ組織となります。いまではピオトープまでつくっています。マンションがもう終のすみかにな

意識改革が必要なのでしよう。例えば六本木の防衛庁跡地にしても、またまた六本木ヒルズのような大規模都市開発になるようですが、思い切った緑地にするといった構想はなかったのか。予々私はあそこに原子力発電所を持つてきたらという話の安全とエネルギーという重要な課題を大都市のまっただなかで考え、都市の独善性を反省するとういういい機会だったのに惜しいですね。

石川 都市は空からでなく人の目線で見なければならぬと思います。汐留の開発でもシオサイトのビル街から浜離宮へ入るのに、高速道路をくぐり通行量の多い道を渡り、さらに歩道橋を昇り降りしなれば行き着けない無惨なアプローチなんですね。私は海外からの人を案内する時は、恥ずかしいから

意識改革が必要なのでしよう。例えば六本木の防衛庁跡地にしても、またまた六本木ヒルズのような大規模都市開発になるようですが、思い切った緑地にするといった構想はなかったのか。予々私はあそこに原子力発電所を持つてきたらという話の安全とエネルギーという重要な課題を大都市のまっただなかで考え、都市の独善性を反省するとういういい機会だったのに惜しいですね。

丸茂 私も森林ボランティアをやっていますが、森を守ることは水を守ることで、まさに人や生き物の命を支えることなのです。阪神大震災でもまちを火から守ったのは神社や公園の緑でした。緑は景観や風景のレベルで見られがちですが、都市と人、生き物の「いのち」を支えるまちづくりの基本だといえます。都市機構でも都市の緑と水には随分先駆的な試みをされ、今では予想を超えた多彩な緑と水辺に育っています。これからの都市再生のプロデュースにもそのノウハウを大いに発揮してもらいたいですね。

都市に森をつくる

丸茂 汐留も海からの風を高層ビル群が遮って都市の気温を上げていっているといわれています。もう少し自然と共生できるランドスケープを考えないと都市は生きていけない。

意識改革が必要なのでしよう。例えば六本木の防衛庁跡地にしても、またまた六本木ヒルズのような大規模都市開発になるようですが、思い切った緑地にするといった構想はなかったのか。予々私はあそこに原子力発電所を持つてきたらという話の安全とエネルギーという重要な課題を大都市のまっただなかで考え、都市の独善性を反省するとういういい機会だったのに惜しいですね。

丸茂 私も森林ボランティアをやっていますが、森を守ることは水を守ることで、まさに人や生き物の命を支えることなのです。阪神大震災でもまちを火から守ったのは神社や公園の緑でした。緑は景観や風景のレベルで見られがちですが、都市と人、生き物の「いのち」を支えるまちづくりの基本だといえます。都市機構でも都市の緑と水には随分先駆的な試みをされ、今では予想を超えた多彩な緑と水辺に育っています。これからの都市再生のプロデュースにもそのノウハウを大いに発揮してもらいたいですね。